

新型コロナウイルス感染症の拡大防止へ

東京では、雪混じりの冷たい雨となった14日、ソメイヨシノの開花が発表されました。昨年より7日、平年より12日早い観測統計史上最も早い開花宣言となりました。花を愛でながらの和やかな一時を楽しんでいる人も多いかと思いますが、小池東京都知事は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、宴会的なことを控えるなどの花見の自粛を求めました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、中国から世界各国に拡大しています。

我が国も感染の拡大は続いています。今月9日の「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」が示した見解では、「日本の状況は爆発的な感染の拡大には進んでおらず、一定程度、持ちこたえているのではないかと考える。」としています。更に「北海道での緊急事態宣言から少なくとも約2週間後でなければ効果を推定することは困難であり、その後、複数の科学的指標を用いて効果を判断し、3月19日頃を目途に公表する。」としています。

政府は10日、こうした専門家会議の見解を踏まえ、感染拡大防止策と医療提供体制の整備、学校の臨時休業や事業活動の縮小に伴う課題等に対応するため、財政措置約4,000億円、金融措置約1兆6,000億円規模の「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策一第2弾」を公表しました。

この緊急対策には、全国で2,000を超える感染症病症に加え、感染症指定医療機関や国立病院機構等の公的医療機関を活用し、緊急時には5,000を超える病床を確保すること。AMED研究費や厚労科研費を十分に活用し、治験薬の有効性確認やワクチン・簡易検査キットの早期開発を進めることも盛り込まれています。

私は、来年度予算案を議題とした18日の厚労委員会において、「新型コロナウイルス感染症に対するワクチン、治療薬の研究開発を促進するためには、民間投資を呼び込むことが必要であり、新型インフルエンザ（H5N1）と同様、ワクチン等の国家買上げ・備蓄を行うことを提案しました。

政府が要請する小中高の臨時休業やイベント自粛により、人生の節目となる卒業式も中止や規模の縮小を余儀なくされています。また、センバツ高校野球の開催中止、プロ野球やサッカーJリーグの開催延期等、プロ・アマのスポーツイベントや演劇・コンサート等の文化イベントが中止・延期となるなど社会生活に大きな影響をもたらしています。更に、各種イベントの中止や世界各国での人の移動制限などにより経済活動が停滞し、世界経済の下振れリスクの懸念が顕著となっています。

本日開催予定の専門家会議の結果が注目されますが、いずれにしても、新型

コロナウイルス感染症の拡大を一刻も早く終息させるため、国、地方自治体、事業者、医療関係者や国民が一丸となった取組が重要となっています。